

就職差別撤廃に向けた要請行動

部落解放共闘熊本県民会議は7月12日（金）に熊本県、熊本県教育委員会、熊本県私学協会、熊本労働局、熊本県商工会議所連合会に、7月16日（火）に熊本県経営者協会に対し、就職差別撤廃に向けた要請行動を行い、連合熊本からは共闘会議議長の友田会長、事務局次長の霜出副事務局長、徳富副事務局長が出席しました。



熊本県に要請書を提出する友田議長

採用選考に際しては、仕事をする上での能力や適性と関係のない個人情報の収集は職業安定法で禁じていますが、連合本部が公表した調査結果においても、家族の職業や本籍地、宗教、支持政党など、能力・適性等とは関係のない情報を収集する企業等が多数あることが分かっています。このようなことから、採用差別が起きないよう、厚生労働省の参考様式に準じた応募様式の徹底、企業の役員や人事

担当者に対する研修の強化や啓発活動の実施等を要請しました。

連合熊本は、部落解放共闘熊本県民会議を組織する関係団体と連携しながら、今後もあらゆる差別の撤廃に向け取り組みを進めます。



商工会議所連合会との意見交換



くらしをまもり、未来をつくる

連合熊本

3811

情報

発行 日本労働組合総連合会
熊本県連合会
発行・編集人 山本 寛
〒862-0976
熊本市中央区九品寺1丁目17-9
☎(096)375-3811 FAX (096)375-3017
印刷所 株式会社 チューイン
2024年8月30日発行 No. 382

戦後79年 平和への思いをつなぐ



1945年の終戦から今年で戦後79年を迎えました。いまなお世界では、パレスチナ自治区ガザでの戦闘、ロシアのウクライナ軍事侵攻など、あらゆる武力衝突は終息の兆しがみえず、つねに核の脅威に脅かされています。私たちは平和を願い、戦争を風化させない取り組みを進めていくうえで、過去を振り返り、いま地球上で起こっていることに目を向けて、自分たちになにができるのかを考えていかなければなりません。

連合熊本は、6月29日に第16回ピースアクション対面で5年ぶりに開催、6月23日からの沖縄を皮切りとした今年の平和行動は、8月の広島・長崎、9月の根室と続きます。本号では、連合熊本のこの間の平和への取り組みと、それぞれの平和行動に参加された方の感想を抜粋して紹介します。

連合2024平和行動

in
沖縄

6月23日（日）～25日（火）に連合2024平和行動in沖縄が開催され、連合熊本から11名が参加しました。1日目の2024平和オキナワ集会では、基調講演「日米地位協定について」と平和式典に参加し、2日目にはピースフィールドワークで、辺野古・チビチリガマ・嘉数高台などを巡る「基地コース」に参加しました。

私たちが日々生活できているのは「平和であること」が大前提であることを改めて感じる2日間でした。（関）

実際に体感したオスプレイの騒音は旅客機のとまったく違う騒音で、近隣住民が訴訟を起こす理由を本当に理解できました。（木野）

『戦争』が二度と繰り返さぬよう『平和』の大切さをより多くの方々にも広く知って頂きたいと感じた2日間でした。（西村）



連合熊本からの参加者

オスプレイは墜落事故や部品落下が多く、危険と隣り合わせの生活。基地問題は沖縄だけの問題ではなく、日本全体の課題だと認識しました。（今永）

多くの尊い命を奪う戦争の「悲惨さ」や「愚かさ」を痛感し、恒久平和実現のために何ができるのか改めて考える貴重な機会となりました。（西本）

恒久平和の実現には、何度も学習を繰り返し、子の世代、その次の世代まで受け継いでいくことの大切さを改めて実感しました。（米村）

地元沖縄での陸と海双方での反対運動を直に聞け、やはりメディアによる情報だけではなく、現地での情報も大切だと改めて感じました。（田中）

米軍機の騒音がない沖縄の未来が実現できたら。79年前の悲劇を繰り返さないよう平和を祈り、歴史を学び続けます。（宮崎）

初めて参加しました。教科書だけでは学べない平和について考える機会となりました。これから当事者意識をもって、活動を行っていきたいと思います。（竹原）

「騒音で授業の中断は当たり前。でもこれは、当たり前ではなかった」基地問題は日本全体の問題。参加したことがない方は、ぜひ実際参加して見て感じてほしいです。（出水）

野球をしながら子どもたちが「ナイスプレー！オスプレー！」とかけ声をしていたと聞き、常に子どもたちの生活に米軍の影響があることを実感した。（齊藤）

辺野古新基地建設現場を臨む



平和行動 in 沖縄行動参加者 【※敬称略】

関孝之（情報労連）木野靖子（UAゼンセン）西村誠一（交通労連）今永顕一郎（JR連合）西本宏至（運輸労連）米村文博（全労金）田中仁史（菊阿地協）竹原信吾（青年委員会）宮崎儒璃（女性委員会）齊藤智洋（連合熊本）出水夕子（天草宇城上益城地協）

連合熊本 おてもやん総踊りに59名が参加

連合熊本は8月3日（土）に、熊本市で開催された火の国まつりおてもやん総おどりに、昨年に引き続き2回目の参加をしました。女性委員会や青年委員会をはじめ、各産別や事業団体等から総勢59人が、沿道からの声援をうけながら元気に踊り歩きました。銀座通り付近から鶴屋百貨店付近までの電車通り周回コースを約1時間半、連合熊本を広く社会にアピールするとともに、産別を超えた一体感を感じながら、参加者は楽しい時間を過ごしました。



今年の総おどり さあ、スタートします！



あたりも暗くなって、踊りも最高潮に

編集後記

この編集後記を3811の編集と同時進行で作成するのですが、今回はなかなかテーマが思いつかず、出来上がっていません。こんな時のために代わるものを考えとかなきゃと。

例えば「連合事務局からみなさんへ」と題して、交代で近況を発信したり、事務局の日常のひとコマを紹介するとすれば、連合とみなさんとの距離がグッと近まるんじゃないかなあと思ったりして…。毎回事務局会議で提案してみようかなあと思うのですが、「『編集後記』を書けるということは、情報作成担当の特権なんだよ」という意見もあったりして、たぶん却下されるだろうなあと思っています。と、書いていたら編集後記が出来ました！今回も読んでいただきありがとうございます。（Nami）

Topics

RENGO KUMAMOTO

連合熊本公式SNSのご案内



「連合熊本」はタイムリーにSNSにて情報を発信しています！



今後の主なスケジュール

- | | |
|--------|--------------------------|
| 9月6-9日 | 平和行動in根室 |
| 14日 | 連合熊本青年委員会学習会 |
| 〃 | 労福協「熊本県労福協第6回次世代リーダー研修会」 |
| 18日 | 連合熊本第11回執行委員会 |
| 26日 | 2024連合熊本教育フォーラム |
| 10月4日 | 熊本県労福協・事業団体チャリティーゴルフコンペ |
| 25日 | 連合熊本第12回執行委員会 |
| 〃 | 連合熊本第28回地方委員会 |

第16回 連合熊本 ピースアクション



連合熊本
霜出副事務局長



連合熊本
友田会長



連合熊本
木村国民運動委員長



会場には250人の参加者が集まった



女性委員会と青年委員会による朗読

連合熊本は6月29日(土)、熊本市国際交流会館にて第16回ピースアクションを開催し、対面で5年ぶりとなったこの集会には、250人が参加しました。

オープニングでは、戦闘が続くウクライナの映像に続き、女性委員会と青年委員会が戦争体験記「ふるさとの太平洋戦争」を朗読しました。乗富女性委員長は「戦争を体験していない私たちができることは語り継ぐこと、学ぶことだと思います」とコメントしました。



高谷和生さんの講演

霜出副事務局長の司会進行ではじまり、連合熊本友田会長による主催者挨拶、そのあと、くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク代表の高谷和生さんが「熊本の戦争遺産 加害と被害」と題して講演を行いました。高谷さんは、県内の軍事施設や戦禍の熊本の様子を紹介し、「一人ひとりが戦争が遺したものに向き合い継承していくことが大事」と語りました。



かりゆしウェアで登場 竹原事務局長

平和行動in沖縄に参加した竹原青年委員会事務局長は「当事者意識をもって真剣に考えていくことが、恒久平和の実現と慰霊者を追悼できることだと思う」と報告をおこない、最後に木村国民運動委員長が全体のまとめをおこない集会は閉会しました。

ウクライナの子どもたちの絵画展



「ウクライナの勝利」(8才)



「神よ助けてください」(8才)



足を止めてカメラにおさめる人も

会場ロビーでは、厳しい状況におかれているウクライナの子どもたちが描いた絵画およそ100点を展示しました。参加者は、展示された絵を前に足を止め、絵から感じとれる子どもたちのメッセージを受け止めながら、会場へ入りました。

千羽鶴を広島・長崎へ

ピースアクション参加者にも、被爆地へ贈る千羽鶴づくりを呼びかけ、構成組織や地協からの折り鶴とあわせて2つの千羽鶴を完成することができました。8月6日の広島、8月9日の長崎の平和式典に、連合熊本からの参加者によって奉納されました。ご協力いただいたみなさまありがとうございました。



広島



長崎

女性委員会と青年委員会
&事務局スタッフ



前日準備から当日運営
お疲れさまでした

連合2024平和行動

in
広島

8月5日(月)～6日(火)に連合2024平和行動in広島が開催され、連合熊本から8名が参加しました。1日目は連合広島青年委員会による被爆路面電車・乗車学習会の後、連合2024平和ヒロシマ集会、連合原爆慰霊式に、2日目は平和記念公園にて開催された広島市平和式典に参加しました。参加者は被爆、戦争の悲惨さ、平和の尊さを改めて確認しました。

「唯一の被爆国である日本政府は、核兵器禁止条約国会議に参加し被爆者とともに核無き世界を訴えてほしい」という高校生平和大使の言葉。今後の日本を背負う若者の心からの願いであると感じました。(松下)

高校生の平和大使の「ビリョクだけどムリョクじゃない」まさにその通りだと思います。人類みんなが平和になるよう行動をおこして、更にこの悲惨な出来事を後世に語り継いでいくこともすごく大事だと感じました。(楠口)



8時15分にあわせて黙とうをする参加者

原爆遺跡を見たり聞いたりして原爆の非人道性、脅威を再認識し、戦争の愚かさ、核抑止論の危うさ、日本の戦争責任について知ることができた。人間は間違いやすく忘れやすい。これからもしっかり学習し、自分でできることをやっていこうと思った。(吉柳)

被爆路面電車は、広島から世界に平和を訴えるシンボルとして長く運航してもらいたいと感じた。黙祷の時刻を迎えると、外国人観光者も、散歩している人も、公園内にいる全ての人が喋ることを止め、立ち上がり、脱帽し、黙祷していた事が印象的だった。(加藤)

過去を知ることが活動の背景を理解することにつながると考えているため、ぜひ広島以外の平和行動にも参加したいと思いましたし、多くの方に参加いただくことで連合のよりよい活動につながるのではないかと感じました。(池崎)

ウクライナやガザにおける人々の実相に、心を致すことにかまけている自分に気づかれました。戦争の実相を知る機会を1つでも多くつくることが政治、行政、マスコミ、そして我々連合の責務であり、この集会の必要性であると理解しました。(徳富)

今起きている戦争に罪なき人が巻き込まれている事実憤る気持ちを、子どもたちに伝承していくのが我々の責務だと痛感しました。(本田)



原爆ドーム前にて

連合2024平和行動

in
長崎

8月8日(木)～9日(金)に連合2024平和行動in長崎が開催され、連合熊本から16名が参加しました。1日目は被爆79年連合2024平和ナガサキ集会、2日目は出島メッセ長崎において「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」にWEBで参加し、連合長崎青年委員会によるピースガイドから説明をうけながら、平和について学びました。

原子爆弾によって今なお後遺症に苦しんでいる方々を知り、「一人ひとりが世界平和の実現に向けて考え行動していく」必要性を強く感じました。(濱田)

今を生きる私たちは「歴史の通行人」として、あらためて「戦争の悲惨さ愚かさ」を次代に繋ぐことが、私たちの使命であると強く感じました。(猪塚)

来年は戦後80年、節目の年です。今世界各地で起こっている戦争が一日も早く停戦、終戦になることを願うばかりです。(住吉)

日本の発信力を経て、核のない世界を願い改めて平和への行動につながるよう微力ながらも出来ればと思います。(谷口)

「長崎を最後の被爆地に」の言葉を強く訴えられており、後世で同じ過ちが繰り返されないよう、微力ながら行動していきたいと思いました。(池田)

最も印象的だった「最後の被爆地にするために」という言葉。「最後の」とは「もうやめて下さい」と真正面から向う芯の強さを感じました。(岩下)



連合熊本からの参加者

97歳の築城さんが「被爆して重症を負いながらも、早く治して戦争へ行かねば!と思った」と語られたことに衝撃を覚えました。(石田)

若い人たちが「ビリョクだけどムリョクじゃない」熱い信念と意思で活動していることを感じ、自分には何が出来るのか考えさせられました。(山口)

平和祈念式典は、核兵器が残酷な兵器であり、戦争が残酷な行いであることを、改めて世界に訴える場であるからこそ、ロシアやイスラエルを招待し被爆地の声を聴かせるべきであったろう。(村山)

鈴木長崎市長の「地球市民として、長崎を最後の被爆地に」という訴えが心に残りました。初心にかえて平和運動を見つめなおす機会となりました。(高田)

本当は辛く苦しく、思い出したくない体験をされた語り部の方の思いを、今を生きる私たちは引き継ぎ、行動しなければなりませんと強く感じました。(泉)

今日あることを当たり前と思わず、多大なる犠牲と努力の下に現在がなりたっていることを改めて感じました。(坂口)

平和行動 in 長崎行動参加者 【※敬称略】

松島弘一郎(電機連合) 高田修一(情報労連) 岩下慶子(UAゼンセン) 柿田将博(JP労組) 池田延幸(電力総連) 石橋健一(交通労連) 谷口靖(紙パ連合) 濱田享二(JR連合) 坂口弘敏(基幹労連) 住吉隆典(私鉄総連) 山口貴夫(県南地協) 田中仁史(菊阿地協) 猪塚雄二(熊退連) 村山幸雄(熊退連宇城地協) 泉秀明(連合熊本) 石田量子(連合熊本)

平和行動 in 広島行動参加者 【※敬称略】

加藤大蔵(自治労) 本田一樹(自動車総連) 池崎大智(電機連合) 吉柳きよみ(熊教組) 楠口史彦(JAM) 角田盛広(国公連合) 松下友典(天草宇城上益城地協) 徳富幸平(連合熊本)